

港新聞の発行目的

- まじめに生活し働く区民の立場で
- 真実を伝え、ともに考え、提案し
- よりよい港区づくりに貢献する

発行 **港新聞** (代表: 飯田吉一)

〒552-0005 大阪市港区田中3-3-3 TEL・FAX: 06-6571-4636

<http://osaka-minatonews.sakura.ne.jp/>

Eメール: yamaemi@bridge.ocn.ne.jp

毎月15日にホームページで発行 <冊子1冊300円, 年間3000円>

港新聞が閲覧できる場所

港図書館(弁天 2-1-5), 港区民センター(弁天 2-1-5), 弁天町市民学習センター(弁天 1-2-2-700), 各銭湯(朝日湯除く), 港区在宅サービスセンターひまわり(弁天 2-15-1), 築港地域在宅サービスステーション(築港 2-4-16), 港スポーツセンター(田中 3-1-126), ほんのぼの休憩所(八幡屋商店街内), 石炭倉庫(波除 6-5-18), シネ・ヌーヴォ(西区九条 1-20-24), 韋駄天尊(繁栄商店街内), 珈琲館隠岐(磯路 3-25-6), 交通科学博物館(波除 3-11-10)

パソコントラブルレスキュー

パソコンに関することなら、すべておまかせください。

矢野システム研究所

- ▶ パソコンが起動あがらない
- ▶ データを消してしまった、消えてしまった
- ▶ ハードディスクが調子悪い、大事なデータを取り出したい
- ▶ ウィルスが進入して困った、どうしよう
- ▶ 外国船のパソコンが調子悪い、助けて!

港区八幡屋1-9-2 ☎6573-4321

こまめセール

ひとつでも参上!

スイッチや差込の取替え **3,130円**

エアコン奥まで高圧洗浄 **12,600円**

しげもりムセン
6571-5183
港晴1-8-15
消費税増税→不況が深刻化(恐慌)→税込減→日本沈没

ゆうやけ

★「民間活力の導入」といえば聞こえはよろしいが、要は利益第一の企業に任せること。「財政難」を口実に、何とかの一つ覚えのように振り回されたら市民はたまったものではありません。ましてひとたび損なわれたら取り返しのつかない歴史遺産の管理や使用は慎重の上にも慎重を期すのが行政としてのあるべき姿。港区が誇る「赤レンガ倉庫」を業者に賃貸して保存・活用してもらうという大阪市の決定(1頁)。果たして遺産は守られるのか、地域発展に繋がるのか、よう考えながら見守りまひよ。

★秋はやっぱ祭の季節。楽しみながら被災地支援を果たした「さんま祭り」(22頁)。地域と

溶け合い40年の「海の子まつり」(25頁)。ヘルシームード一杯の「健康まつり」(26頁)。そして空前の2万3千人が参加した「区民まつり」(6頁)。この溢れるパワーを見れば、北島三郎ばりに「♪これが港の祭だよ～」と歌い出す読者がおられるかも(え、おらんて…)。

★雨を突いて貫徹された「ごちそうマラソン」(18頁)。紙面の制約を受けにくい冊子形式ならではの詳細なルポタージュをお楽しみ下さい。何百年後かにこの地の遥かな末裔たちが読み、かつての港区民の底力を物語る歴史の記録として「♪あんな時代もあったねー」(中島みゆき『時代』)と振り返ってくれるかも。